

うるま市市制施行・合併10周年記念誌



2005-2014

うるま市市制施行・合併10周年記念誌

10th ANNIVERSARY MEMORIAL BOOK

あした もっと好きになる うるま



うるま市



うるま市 市制施行・合併10周年記念誌

10th ANNIVERSARY MEMORIAL BOOK

発行 2015年3月

企画編集：うるま市役所 秘書広報課

〒904-2292 沖縄県うるま市みどり町一丁目1番1号
TEL.098-974-3111(代) <http://www.city.uruma.lg.jp/>



うるま市市制施行・合併10周年記念誌

CONTENTS

発刊に寄せて	1
うるま市の概要	2 - 4
年間イベント	5
うるま市誕生までのあゆみ	6 - 7
年度別出来事	8 - 27
10年でこんなになりました	28 - 29
URUMA NEXT	30 - 34
うるま市自治会(公民館)一覧	35
新庁舎、新施設紹介	36 - 37
行政・議会の歩み	38 - 39
市民憲章・うるま市歌	40

うるま市合併10周年「キャッチフレーズ・ロゴマーク」

キャッチフレーズ

あした もっと好きになる うるま

創作者：村上 雅紀さん(石川東恩納)

作品について：合併の感想・実感は人それぞれあると思いますが、日々の暮らしの中で、うるま市が自分たちの街なんだと感じることが多くなってきました。世代を問わず、うるま市がもっと好きになれることを願い考案しました。

ロゴマーク

考案者：前徳 薫さん(勝連平安名)

作品について：うるま市の市章を対称に合わせ、ロゴを作ってみました。10年目お誕生日という意味で、海の部分はリボンに変更しています。また、色味については、元気がでるようなビタミンカラーを使っています。ロゴを遠くから見ると、人が手と手を取り合っている感じがしてステキだと思います。



世界遺産の勝連城跡

市制施行10周年記念誌発刊に寄せて



うるま市誕生から10年。 更なる飛躍を目指して!!

うるま市長 島袋 俊夫

平成17年4月に、旧4市町の合併により「うるま市」が誕生し、平成27年4月1日をもって市制施行10周年という記念すべき節目の年を迎えます。

この10年間、それぞれの地域の自然環境や、伝統・文化を守り育てながら、市域の均衡ある発展を目指して各種施策を推進してきました。

市制施行10周年を記念して、様々な催しを展開するとともに、うるま市の10年間の主な出来事を振り返る記念誌をここに発刊いたします。

多くの皆様にとって、本市のあゆみをご理解いただく一助となれば幸いです。

結びに、「うるま市」の更なる躍進を遂げるためには、市民の参画と協力が大切です。すぐれた歴史や豊かな自然などの地域資源を生かしながら、健康で安心して暮らせる、やすらぎとうるおいに満ちた市民主役のまちづくりを推進し、市民の皆様と協働して「魅力あるうるま市づくり」に取り組んでいきます。

市民の皆様には、今後とも本市のまちづくりにご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。



位置・地勢



うるま市役所

沖縄県うるま市みどり町一丁目1番1号
市庁舎位置／北緯26度22分45秒 東経127度51分27秒

面積／87.01 K㎡
人口／121,601人
男性：60,894人
女性：60,707人
世帯数／48,507世帯

(2015/2/28)



【うるま市へのアクセス】

那覇空港から車で約1時間30分
那覇市から車で約50分～1時間



本市は、沖縄本島中部の東海岸に位置し、県都・那覇市から約25kmの距離にあります。金武湾と中城湾に面し、東南部に広がる勝連半島の北方海上および東方海上には、有人、無人の8つの島々があり、美しい風景と豊かな自然環境に恵まれています。

気候・自然

本市の気候は、亜熱帯海洋性気候で平均気温は23.0℃前後で、年間降水量は約2,041mmとなっています。市の中央には標高204メートルの石川岳があり、周囲にはイタジイを中心とする広葉樹林が広がっています。市の中央部には、本市と恩納村の境界を源流とする天願川が横切り、金武湾に注いでいます。天願川は昔から地域の人々の水源として、憩いの場として親しまれてきました。市の南部には勝連半島が太平洋に突き出すように延びており、平安座島につながる海中道路の周辺は遠浅の海が広がっており、干潮時には広大な干潟が現出します。



土地利用

本市の面積は、沖縄県内で6番目の市域を有し、市土面積に占める割合は、農用地と山林、原野などの自然的土地利用の合計が約33.5%、道路や宅地などの合計が32.8%、その他が33.7%（平成20年度うるま市国土利用計画より）となっています。また、市域には米軍専用施設・区域が7箇所あり、市土の利用、都市計画および地域振興を図る上で大きな懸案事項となっています。



人口

本市の人口は、2010（平成22）年の国勢調査によると、平成7年から平成12年にかけては4,764人の増加、平成12年から平成17年にかけては3,543人の増加、平成17年から平成22年にかけては3,444人の増加と、増加幅はやや小さくなっています。人口構成では、年少人口比率が徐々に減少している中で、老年人口比率（平成22年17.5%）は増加傾向にあり、全国平均（平成22年23.9%）よりは低いものの、沖縄県平均（平成22年17.2%）との比較ではわずかに高くなっています。また、世帯数は増加しているものの、一世帯あたりの人数は減少し、核家族化、単独世帯の増加など世帯の多様化が進行しています。

歴史

本市は、2005（平成17）年4月1日に旧具志川市、旧石川市、旧勝連町、旧与那城町の4市町が合併して誕生したまちです。市名の「うるま」は「サンゴの島」を意味する古い沖縄方言で、「うる」はサンゴ、「ま」は島の雅名です。

具志川市は、豊富な水資源と肥沃な土壌に恵まれ、かつてサトウキビの生産が沖縄一を誇っていました。太平洋戦争後は沖縄文教学校、沖縄外国語学校、農林学校などが創設され、文教のまちとして発展してきました。石川市は、戦前までは現在の沖縄市にあたる美里村に属していましたが、戦後、美里村から分離して石川市となりました。戦中戦後は難民収容所や琉球政府の前身である沖縄諮詢会や民政府が設置され、沖縄の政治・経済・教育文化の中心地として発展してきました。勝連町は、勝連城城主・阿麻和利の時代には、海外との活発な交易により大和の京や鎌倉にたとえられるほどの繁栄を築いていたと伝えられています。勝連城は2000（平成12）年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして世界遺産に登録されました。与那城町は、約6,000～7,000年前の藪地洞穴遺跡（藪地島）や約2,500年前とされる「シヌグ堂遺跡」（宮城島）などがある歴史の古いまちです。琉球王国の国王・尚寧王（しょうねいおう）の父親にあたる与那城王子尚懿（しょうい）の拝領地であったとも伝えられています。

隣接する4市町は歴史的なつながりが強く、地縁、血縁など住民同士の交流も古くから続いており、生活・経済・文化面において一体的な歩みを刻んでいます。



昔の勝連庁舎周辺と県道8号線



戦後直後の石川地区の様子



安慶名十字路口方面に向かって



昔の与那城庁舎周辺・海中道路



産業構造

平成22年の国勢調査によると、本市の産業別就業人口は、第一次産業が2,429人(5.6%)、第二次産業が10,072人(23.2%)、第三次産業が30,846人(71.2%)となっています。近年、第一次産業の減少が目立ち、第二次産業は微減、第三次産業は増加傾向にあります。農業はサトウキビをはじめ花き、野菜、果樹、肉用牛、豚などの栽培・飼育が行われ、水産業は県内有数の「もずく」の生産拠点となっています。商業は既成市街地の活性化を図るため、各種の商業や産業の育成に努めています。工業については特別貿易地域に指定されている中城湾港新港地区において、情報産業をはじめ加工貿易型産業の拠点形成が推進されています。



文化・観光

12～13世紀の築城とされる勝連城跡は、琉球王国時代の15世紀ごろに活躍した阿麻和利の居城と伝えられ、2000(平成12)年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして世界遺産に登録されています。また、市域には安慶名城跡や伊波城跡、沖縄先史時代の伊波貝塚や仲原遺跡などの文化財があります。

本市は古くから闘牛の盛んな地域で、沖縄一の規模を誇る安慶名闘牛場や石川多目的ドームでは一年を通じて闘牛大会が開催されています。エイサーは青年男女が各地域をまわりながら先祖の霊をなぐさめる勇壮な踊りで、毎年旧盆に行われています。特に勝連平敷屋、与那城屋慶名、具志川赤野のエイサーは有名です。平敷屋、与那城のエイサーは「日本の音風景百選」にも認定されています。勝連半島と平安座島を結ぶ約4.7kmの海中道路をはじめ宇堅ビーチ、伊計ビーチ、大泊ビーチは夏場の海水浴やマリンスポーツで賑わいます。また、石川岳には「市民の森公園」があり、展望台からは太平洋と東シナ海を望むことができます。この他、市域にはゴルフ場や洋ランセンターなどもあります。



～人と歴史が奏でる自然豊かなやすらぎと健康のまち～

年間イベント



春の芸術祭



平安座島のサングワチャー (旧暦3月3日～5日)



綱引き (各地)



全島獅子舞フェスティバル

1月 春の芸術祭

2月 生涯学習フェスティバル

3月 環金武湾
ウォーキングフェスタ
ゆいゆいウォーク

4月 あやはし海中
ロードレース

5月 こいのぼり掲揚式

6月 ハーリー
(旧5月4日)

7月 うるま市民総合文化祭

8月 うるま市
エイサーまつり

9月 全島獅子舞
フェスティバル

10月 うるま祭り

11月 うるみん
健康・福祉まつり

12月 うるま市
産業まつり



あやはし海中ロードレース



ハーリー
(旧5月4日)



闘牛大会

うるま市誕生までのあゆみ

国や地方の財政状況の悪化、少子高齢化の進行、住民ニーズの高度・多様化など激動する時代に対応するため、国は「行財政基盤の強化」を目的に市町村合併を促進することになりました。このような時代背景の下、具志川市、石川市、勝連町、与那城町においても将来を見据え、2市2町が“ひとつ”になる行政運営を目指すことになりました。

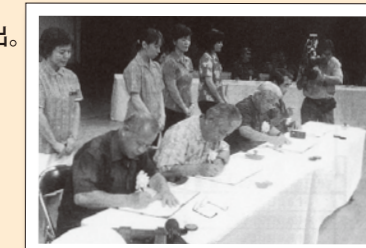
- 1997**
平成9年
 - 3月 定例議会において、当時の具志川市長（仲本景美氏）、勝連町長（藏當眞徳氏）、与那城町長（前上門正進氏）が近隣市町村との合併を検討する必要性を表明。
 - 11月12日 ライオンズクラブの主催で具志川・与勝サミット開催。
- 1999**
平成11年
 - 8月29日 具志川青年会議所主催の合併についてのフォーラム開催。
- 2000**
平成12年
 - 8月30日 沖縄県市町村課と3首長の意見交換会を具志川市役所で実施。
- 2001**
平成13年
 - 5月28日 3市町合併後援会開催。
 - 11月10日 具志川市青年会議所創立20周年事業「街づくりと市町村合併」を開催。
 - 11月17日 「市町村合併をともに考える全国リレーシンポジウム2001 in 沖縄」を勝連町きむたかホールで開催。3市町の合併の機運が盛り上がる。
 - 11月30日 具志川市・勝連町・与那城町3市町の合併を考える任意協議会についての覚書締結。
 - 11月30日 沖縄県市町村合併支援本部長より合併重点支援地域の指定を受ける。
 - 12月3日 「任意協議会」の事務局が勝連庁舎のシビックセンター内に設置される。
- 2002**
平成14年
 - 1月21日 第1回任意協議会が開催され、藏當眞徳会長から27人の委員へ委嘱状が交付される。
 - 2月5日 事務局と行政関係者で東京都西東京市と茨城県潮来市の合併先進地を視察。
～7日
 - 4月～8月 市町村合併に関する各種団体説明会実施。
 - 5月14日 第2回任意協議会が開催され、経過報告や視察研修についての報告が行われる。
 - 7月～10月 7月28日に第1回「新市のまちづくりビジョン策定ワークショップ」会議を開催。同年10月の第6回会議まで白熱した議論を展開し、新市のビジョンを取りまとめる。
 - 9月～10月 市町村合併に関する住民説明会を開催。
- 2003**
平成15年
 - 1月15日 第3回任意協議会が開催され、各種団体及び住民説明会の結果やアンケート調査結果等の報告が行われたほか、法定合併協議会への移行に向けた内容の検討も行われた。
 - 1月24日 三市町は「法定合併協議会の設置に関する」議案を臨時議会で提案。その結果、勝連町議会は賛成多数で可決。与那城町議会は全会一致で可決。具志川市議会は1月28日に賛成多数で可決した。
 - 1月31日 3首長で具志川市・勝連町・与那城町合併協議会設置に伴う協議事項について同意書を交わす。
 - 2月3日 知念恒男具志川市長、藏當眞徳勝連町長、具志堅順助与那城町長は、沖縄県知事に対し「合併協議会設置の届け」を提出。法定合併協議会の委員は三市町の長、助役、教育長、議会議員（具志川10人、勝連5人、与那城5人）、学識経験者及び各種団体代表者（20人）の合計49人で構成され、それぞれの立場から議論を交わすこととなった。合併事務局は任意協議会の体制（4人）で対応することになった。

- 2月12日 第1回合併協議会が開催される。合併協議会は石川市が加わる第6回合併協議会までは三市町による合併協議となった。第3回からは事務局も8人体制となった。
- 4月30日 石川市議会では臨時議会を開催して、合併の相手先を具志川市・勝連町・与那城町とする議案を賛成多数で可決。
- 5月1日 平川崇賢石川市長は、それまでに決定された協議事項をそのまま受け入れることを了承し、正式に参加を申し入れた。
- 5月8日 第4回合併協議会において石川市の申し出を検討。具志川市・勝連町・与那城町の議会において石川市の参加を承認する意見が大勢を占める。
- 6月3日 新市建設計画について、15人の委員（石川市を除く）で第1回新市建設計画検討委員会を開催し、策定へ向けた協議を開始した。7月1日から石川市の参加に伴い20人の委員となり、合計14回の会議を経て平成16年2月12日に新市建設計画（素案）が策定された。
- 6月6日 2市2町による合併協議会設置に伴う協議事項についての同意書を交わす。
- 7月1日 「具志川市・石川市・勝連町・与那城町合併協議会」が発足。
- 7月3日 沖縄県知事へ「具志川市・石川市・勝連町・与那城町合併協議会」設置の届け出を提出。
- 7月10日 第6回合併協議会が開催される。石川市の参加により協議会委員は64人となり、事務局体制も13人と増員された。
- 8月21日 新市名称検討委員会を設置。新市の名称の候補を選定することになった。



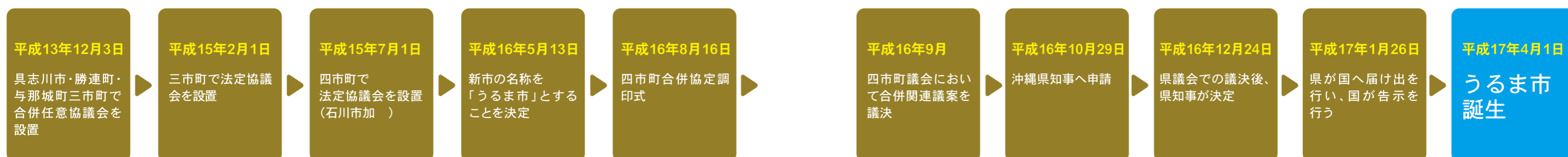
2004 平成16年

- 5月13日 第20回合併協議会で新市の名称を『うるま市』に決定。
- 5月27日 「新たに飛躍するまちを目指して」をテーマに、四市町合併シンポジウムが開催される。
- 6月8日 2市2町ごとに首長以下、関係職員を動員して、夜間に自治会単位で住民説明会を開催した。
～8月5日
- 8月16日 第22回合併協議会で全ての協定項目の協議が完了したことを受けて、合併協定調印式が行われる。
- 9月 2市2町の定例議会で合併に関する5議案が提案され可決された。
- 10月29日 2市2町の首長が県庁を訪問し、稲嶺恵一知事に「合併申請書」を提出。
- 12月21日 沖縄県議会において2市2町の合併関係議案が全会一致で可決され、12月24日付で沖縄県知事より決定書が交付される。



2005 平成17年

- 1月26日 官報により、2市2町の配置分合が告示される。
- 3月31日 2市2町ともに長年続いた市政、町政の歴史に幕を降ろすことになり、それぞれで閉市式・閉町式が開催された。具志川市—2月17日 石川市—3月17日 勝連町—3月25日 与那城町—3月6日
- 4月1日 開庁式は、本庁舎（旧具志川市役所）の玄関前で午前10時から関係者や市民ら約350人が参加して行われ、藏當眞徳市長職務執行者が祝辞を述べた後、「うるま市役所」と記された石碑の除幕や蝶々（オオゴマダラ）が放たれ、新市の発足を祝った。



平成17年度

2005年4月1日
—
2006年3月31日

世の中の動き

- 〈県内〉・普天間基地、名護市の辺野古移設に日米両国で合意(10月)
- ・大手スーパー・ダイエー、沖縄から撤退(11月)
- 〈県外〉・JR福知山線脱線事故で多数の死傷者(4月)
- ・衆議院選挙(郵政解散)で自由民主党が圧勝(9月)
- ・トリノ五輪フィギュア女子で荒川静香選手が金メダル(H18,2月)



新名称決定

「豊かな自然と人が調和した健康で心豊かな活力ある歴史と教育文化のまち」実現に向けて

うるま市誕生!

平成17年4月1日、「うるま市」の開庁式が、本庁舎となる旧具志川市役所前で関係者や市民が参加して行われました。式典では蔵當眞徳市長職務執行者の式辞の後、「うるま市役所」と記された石碑の除幕式が行われました。その後、庁舎前で「くす玉」が割られ、「うるま市誕生」の垂れ幕が下がると同時にファンファーレが鳴り響き、参加者の手から一斉に500頭の「オオゴマダラ」(蝶)が放たれ、新たな歴史のスタートを祝いました。



うるま市誕生(2005年4月)



第1回うるま市みほそまつり(2005年7月)



第1回うるま市陸上大会(2005年10月)



田場小学校人文字に挑戦(2005年11月)

字上江洲主催による夏祭り



字上江洲の夏まつりをさらに盛り上げた瀬利覚の獅子舞

8月27日、字上江洲主催による夏祭りが開催されました。獅子舞フェスティバルで交流のある鹿児島県沖永良部知名町瀬利覚の獅子舞を招いての交流も行われ、例年になく盛り上がりを見せました。



第1回うるま市生涯学習フェスティバル(2006年2月)



2005 ミスうるま



4市町の委員が集い、合計25回にわたる合併協議会が行われました。

■その他の主な出来事

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| 2005年 | 11月 県民大会総合優勝 |
| 4月 うるま市初の議会開催 | 12月 第1回うるま市サッカー協会設立記念フットサル大会 |
| 4月 うるま市石川に児童館「チャレンジ館」オープン | 12月 第1回うるま音楽祭 |
| 5月 初代・知念恒男市長、初登庁 | 12月 第1回うるま市駅伝大会 |
| 7月 「うるま市地域職業相談室」オープン | 2006年 |
| 8月 第1回うるま市あやはしまつり | 1月 第1回少年少女空手古武道大会開催 |
| 9月 うるま市かつれんまつりエイサーフェスティバル in かつちん | 1月 第1回うるま市産業まつり開催 |
| 10月 第1回うるま市全島獅子舞フェスティバル | 2月 第1回平宮護岸アートコンクール開催 |
| 10月 第1回うるま市具志川まつり | 3月 市章・市旗掲揚式 |
| 10月 宮森小学校「平和の鐘」除幕式 | |

平成18年度

2006年4月1日

2007年3月31日

世の中の動き

- 〈県内〉・米軍再編で最終報告(5月)
- ・八重山商工高校、甲子園で活躍(8月)
- ・仲井眞弘多氏、沖縄県知事に就任(12月)
- 〈県外〉・ジャワ島で大地震(5月)
- ・安倍内閣が発足(9月)
- ・北朝鮮が地下核実験(10月)
- ・改正教育基本法が成立(12月)



第1回うるま市エイサー祭り開催(2006年8月)

新しいまちの門出を祝い

「第1回うるま市エイサーまつり」 「第1回うるま祭り」が盛大に行われる

「第1回うるま市エイサーまつり」(8月)には、野の花保育園・大地学童クラブの保育園児、勝連地域の子ども会2団体と市内の青年会14団体が出場し、子どもたちも大人顔負けの演舞を披露しました。「第1回うるま祭り」(10月)は初日の盆栽展を皮切りに闘牛大会、ヤングミュージックステージ、うるま市民謡の夕べ、龍神の宴～新たなる伝説～など、多彩な催しで多くの人々で賑わいました。



第1回うるま祭り開催(2006年10月)



世界のウチナーンチュ大会うるま市出身者歓迎の夕べ(2006年10月)



公共施設県内初のESCO事業を開始(2006年8月)



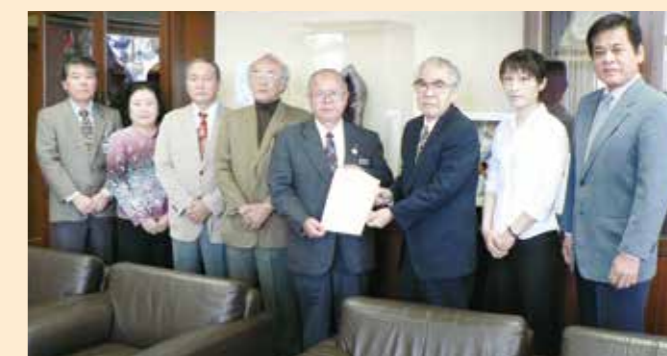
第1回うるま市伝統芸能祭(2007年1月)



文化の発信地ていだめやがま家開所式(2007年2月)



あげなフェスタ(2007年2月)



うるま市民憲章決定(2007年2月)



市立きむたか保育所落成式(2007年3月)



2006 ミスうるま

■その他の主な出来事

- | | | |
|-------|-----|------------------------------|
| 2006年 | 8月 | NHKテレビ小説「どんどど晴れ」ヒロイン比嘉愛未さん来訪 |
| 4月 | 12月 | あま SUN 拠点産地認定証交付式及び収穫祭 |
| 5月 | 12月 | うるま市民ウォークラリー大会開催 |
| 5月 | 12月 | 戸籍事務がコンピュータ化 |
| 6月 | 7月 | 勝連城跡「美しい日本の歴史的風土100選」に選定される |
| 6月 | 3月 | 与勝5島「島々の薫風・島々の芸能」開催 |
| 7月 | 3月 | うるま市第1回闘牛候補審査会開催 |
| 7月 | | |
| 7月 | | |

人口:116,828人 世帯数:41,611件 (平成18年12月現在)

平成19年度

2007年4月1日
|
2008年3月31日

世の中の動き

- 〈県内〉・高校歴史教科書「集団自決」問題で県民大会(9月)
- ・沖縄県立博物館・美術館オープン(11月)
- ・米海兵隊員による少女暴行事件で県民大会開催される(H20, 3月)
- 〈県外〉・参議院選挙で自民党が大敗、民主党が第一党になる(7月)
- ・安倍首相が突然辞意を表明(9月)



うるま市合併記念式典(2008年1月)

合併功労者を表彰。うるま市合併記念式典

うるま市が誕生して3年目となる平成20年1月9日、「うるま市合併記念式典」が市民芸術劇場で開催されました。式典では市町村合併功労者として旧4市町の首長・議会議長へ総務大臣表彰が行われたほか、合併功労者として個人98人と1団体に市長から感謝状が贈られました。



「ALL OKINAWAグリーンアップキャンペーン2007」(2007年8月)



第1回うるま市若獅子空手交流大会(2007年12月)



こいのぼり掲揚式(2007年5月)



闘牛など多彩なイベントに期待高まる。石川多目的ドームが完成

市の伝統的な催しや地域及び文化等の交流の場となる「石川多目的ドーム」(収容人数約3,000人)が5月12日に落成。多くの関係者が参加して施設の完成を祝いました。



サイエンスフォーラムinうるま&チムドンドン出前科学実験in津堅島(2008年2月)



県営かんがい排水事業と勝地下ダム完成式典(2008年3月)



ぐしかわ看護専門学校校舎落成式(2008年3月)



2007 ミスうるま

■その他の主な出来事

- | | | |
|-------|-------|---|
| 2007年 | 11月 | 平宮護岸アートコンクール開催 |
| 4月 | 11月 | うるま市の観光と物産展開催 |
| 4月 | 11月 | うるま市の名産品等が決定(津堅にんじん、ぬちマース、水饅頭「粒菓」、みほそまんじゅう) |
| 4月 | 11月 | 宮城島の観光名所を整備完了 |
| 4月 | 12月 | 高江洲地区農村集落管理施設落成式 |
| 5月 | 12月 | ぐしかわ看護専門学校建築工事起工式 |
| 5月 | 12月 | 全国闘牛サミット in うるまが開催 |
| 6月 | 12月 | 石川前原地区学習等共用施設落成式 |
| 7月 | 12月 | 兼原小学校屋内運動場改築工事起工式 |
| 8月 | 12月 | うるま地区水難防止推進協議大会開催 |
| 8月 | 12月 | 与勝中学校、全国中学校軟式野球大会で準V |
| 9月 | 12月 | うるま市歌制定 |
| 10月 | 12月 | EMサミット in 沖縄開催 |
| | 2008年 | |
| | 1月 | 津堅島でイモゾウムシ等根絶事業スタート |
| | 2月 | 市青少年飲酒防止市民大会開催 |
| | 2月 | 住民票等証明書自動交付機設置 |
| | 3月 | 不法投棄タイヤ掃宣言 |

平成20年度

2008年4月1日
|
2009年3月31日

世の中の動き

- 〈県内〉・沖縄尚学高校、選抜高校野球大会で優勝(4月)
- ・県議会議員選挙で野党躍進、与党小數に(6月)
- ・泡瀬干潟訴訟で公金差し止め判決が下される(11月)
- 〈県外〉・中国四川省で大地震(5月)
- ・米証券大手会社リーマン・ブラザーズの破綻で金融危機が世界に波及(9月)
- ・米大統領に黒人初のバラク・オバマ就任(H21,1月)



健康福祉センター「うるみん」落成(2008年10月)

うるま市健康福祉センター「うるみん」がオープン

10月、うるま市安慶名十字路近くに健康福祉センター「うるみん」がオープンしました。「うるみん」は一般公募で採用された愛称で、「うるま」の「民」で「うるみん」、うるま市のみんなが集える場所という意味が込められています。施設の1階はスロープ付温水プールや運動指導室等、2階は「うるま市社会福祉協議会」、3階は「うるま市役所健康支援課・生活福祉課」となっており、保健事業のために施設も整備され、うるま市民の健康保持増進と福祉活動の拠点となりました。



流水プール

地域生活支援センター「あいあい」

調理実習室

屋上レクリエーション広場



津堅島ブロードバンド事業開通式(2008年4月)



第1回環金武湾ウォーキングフェスタゆいゆいウォーク開催(2008年5月)



12年に1度の倉屋御願(勝連南風原)(2008年10月)



うるま市子ども議会開催(2008年11月)



石油コンビナート等総合防災訓練(2008年11月)



「もずく餃子」共同開発における県庁での発表会見(2009年1月)



7年ぶりに開催された屋慶名大綱引き(2008年7月)

屋慶名大綱引き

7年ぶりの復活となる市と那城屋慶名区の大綱引きが7月19、20日の両日、屋慶名大通りで行われました。若武者に扮した子どもたちを乗せた大綱が持ち上げられると、会場は一気に盛り上がりを見せました。



2008 ミスうるま

■その他の主な出来事

- | | | |
|-----------|-------|--|
| 2008年 | 8月 | 災害支援に関する協定書調印式
(うるま市、中部電気工事協同組合、うるま市建設業者) |
| 6月 | 11月 | 総合防災訓練実施 |
| 7月 | 2009年 | 第1回うるみん健康・福祉まつり |
| 7月 | 2~3月 | うるま市津堅介護保険地域密着型サービス施設が供用開始 |
| 8月 | 3月 | うるま市国土利用計画策定 |
| うるま教育の日開催 | 3月 | |

人口:117,185人 世帯数:42,986件(平成20年12月現在)

平成21年度

2009年4月1日
|
2010年3月31日

世の中の動き

- 〈県内〉・「琉球舞踊」が重要無形文化財に指定される(9月)
- ・「普天間基地」県内移設反対で県民大会(11月)
- ・名護市長選で普天間基地移設反対の稲嶺進氏が当選(H22, 1月)
- 〈県外〉・世界保健機構(WHO) 新型インフルエンザの世界的流行を宣言(6月)
- ・初の裁判員裁判、東京地裁で始まる(8月)



具志川ドーム落成式(2009年4月)

高校総体の相撲会場となる具志川ドームが完成

市民の健康とスポーツ振興のために建設が進められていた「具志川ドーム」が4月25日に完成。同ドームは平成22年に沖縄で開催された高校総体の相撲会場としても使用され、落成式には元横綱・千代の富士の九重親方、大関の千代大海関などを招待して施設の完成を盛大に祝いました。



産業振興に向けてIT関連施設が完成

石川赤崎の旧海員学校跡地に整備を進めてきた「うるま市IT事業センター」が5月12日に完成。6月11日には中城湾港新港地区の洲崎地区に、地区の中核機能支援施設としての役割が期待される「沖縄IT津梁パーク」が完成。企業立地・雇用促進に大きな期待が寄せられています。



うるま市IT事業支援センター落成式(2009年5月)



沖縄IT津梁パーク開所式(2009年6月)



所信表明する島袋俊夫市長
副市長に榮野川氏、教育長に謝敷氏が就任
(2009年6月)



教育長 謝敷 久武氏
副市長 榮野川 盛治氏

市蝶放ち ギネス記録に挑戦



第1回うるま市ちょうちょう祭り(2009年10月)

大型で白黒のまだら模様が特徴の蝶(オオゴマダラ)は、うるま市の市蝶に指定されています。「うるま市ちょうちょう愛好会」では、愛好会結成10周年を記念して平成21年10月10日、11日の両日、市役所本庁横広場で「第1回うるま市ちょうちょう祭り」を開催しました。横広場に40メートル四方の「バタフライまがドーム」を設置して、放蝶数でギネス記録に挑戦するイベントが行われ、1,808匹のオオゴマダラが放されました。

■その他の主な出来事

2009年	2010年
5月 定額給付金申請開始	1月 沖縄北方問題特別委員会との意見交換
5月 島袋俊夫市長就任式	1月 うるま市・琉球ジャスコ株式会社「うるま市物産販売奨励協定」締結
7月 うるみん商品券発売開始	2月 うるま市・金武町による合同企業立地促進協議会設置
8月 関係機関合同による水難事故救助訓練	2月 沖縄近海地震により勝連城跡の石垣の一部が崩壊
11月 金武湾での不発弾処理(米国製1t爆弾)	3月 津堅学校調理場完成

島袋俊夫市長 所信表明

平成21年6月10日、第47回うるま市議会定例会が開会され、島袋俊夫市長が市政運営に対する基本方針を述べました。島袋市長は「経済の活性化と失業率の改善」「教育・子育て支援の拡大」「地元企業育成と誘致、そして地産地消」の3つの目標を掲げ、『うるま市はひとつ・市民協働のまちづくり』をキーワードに、うるま市のさらなる発展のため、誠心誠意取り組んでいきますと、力強く決意を述べました。



元三役離任式(2009年5月)



2009 ミスうるま

平成22年度

2010年4月1日
|
2011年3月31日

世の中の動き

- 〈県内〉・「美ら島沖縄総体2010」開幕(7月)
- ・興南高校、甲子園春夏連覇を果たす(8月)
- ・「組踊」が世界文化遺産に登録される(11月)
- 〈県外〉・宮崎県で口蹄疫の被害広がる(4月)
- ・尖閣列島で中国漁船が巡視船に衝突(9月)
- ・東日本大震災発生、東電福島第1原発事故発生(H23, 3月)



市制施行5周年記念式典挙行(2010年7月)



市地域交流センターが使用開始(2010年9月)



市制施行5周年記念式典 「うるま市民音頭」が披露される

うるま市誕生5周年を記念し、7月1日、うるま市民芸術劇場において「うるま市制施行5周年記念式典」が開催されました。式典では、本市の発展に貢献された74人と3団体が「市政功労者」として表彰されました。また、6月15日に制定された「うるま市民音頭」が初めて披露されました。

「うるま市民音頭」の歌詞は、応募のあった26件の中から、愛知県在住の石井昭吉氏の作品に決定し、うるま市市民音頭検討委員会にて補作。作曲、編曲及び振付を同検討委員会の神谷幸一氏、赤嶺康氏、兼島順子氏がそれぞれ手がけ、完成しました。



うるま市民音頭(2010年6月)



美ら海沖縄高校総体2010開催。相撲の団体競技で中部農林高校が準優勝を飾る(2010年7月~8月)



サウジアラビアからタンカーが入港(2011年2月)

日本とサウジアラビアの共同プロジェクトで基本合意された原油石油備蓄事業が開始され、サウジアラビアの国営企業である「サウジアラムコ社」が、沖縄石油基地株式会社の原油タンクを借り受けることになりました。平成23年2月23日、約30万キロリットルの原油を積載したタンカーが沖縄石油基地株式会社のシーバースに入港しました。



マンゴーの拠点産地に認定(2010年7月)



第1回かっちゃん南風原まつり(2011年2月)



2010 ミスうるま

■その他の主な出来事

2010年

- 7月 与勝地下ダム供用開始式
- 8月 中城湾港が全国43重点湾港に選定
- 9月 うるま市議会議員選挙
- 10月 国勢調査実施

2011年

- 1月 県道33号線(大田~塩屋)開通
- 2月 洋ランとさやいんげんの拠点産地に認定
- 2月 サウジアラムコ社の沖縄における石油基地事業開始記念式典
- 2月 うるま市立南原小学校校舎改築落成記念式典
- 3月 東日本大震災で被災した岩手県久慈市に消防職員5名、車両1台を派遣
- 3月 災害備蓄用毛布1千枚と災害備蓄用タオル1千枚を被災地に提供

人口:118,953人 世帯数:44,793件(平成22年12月現在)

平成23年度

2011年4月1日
|
2012年3月31日

世の中の動き

- 〈県内〉・第5回世界のウチナーンチュ大会開幕(10月)
- ・要美優さん、米国で心臓移植手術を終え帰沖(11月)
- ・八重山教科書問題で大城浩県教育長と八重山地区3教育長、意見交換(11月)
- 〈県外〉・女子サッカー「なでしこジャパン」W杯で優勝(7月)
- ・野田内閣発足(8月)
- ・北朝鮮・金正日総書記急死(12月)



比嘉小学校・幼稚園(創立39年)



平安座小中学校(創立109年)



伊計小中学校(創立109年)



浜中学校(創立117年)



桃原小学校(創立54年)



宮城小学校(創立117年)

4島7つの小中学校の閉校式(2012年3月)



宮城中学校(創立64年)

たくさんの思い出に感謝！ 4島7つの小中学校が閉校式

学校統合のため、島しょ地域の7小・中学校の閉校式が比嘉小学校(3月22日)、浜中学校(3月23日)、伊計小中学校(3月24日)、桃原小学校(3月24日)、平安座小中学校(3月24日)、宮城小学校・宮城中学校(3月25日)で行われました。

それぞれの学校は、地域の教育文化の中心となり、幾多の有能な人材を輩出するとともに子弟の教育と地域の発展に貢献し、輝かしい歴史を築いてきましたが、地域の方々に惜しまれつつ歴史の幕を閉じました。

なお、学校統合後の島しょ地域小中学校は、平安座小学校5年生の下條亜蓮さんが応募した「彩橋」に決まり、平成24年4月に開校する新設校は「彩橋小中学校」となりました。



彩橋小中学校開校(2012年4月)



沖縄アミクスインターナショナル開校(2011年4月)



うるま市観光物産協会開所式(2011年5月)



うるま市消防本部・具志川消防署庁舎落成式典(2011年7月)



うるま市・イオン琉球株式会社「防災活動協力に関する協定書」締結(2011年7月)



うるま市・沖縄工業高等専門学校「連携に関する協定書」締結(2011年10月)



第5回世界のウチナーンチュ大会・世界のうるまちゅ歓迎会(2011年10月)



2011ミスうるま



第1回うるま市景観シンポジウム開催(2012年3月)

■その他の主な出来事

- | | | |
|-------|--------------------------------|----------------------------------|
| 2011年 | 4月 東日本大震災で被災した岩手県大船渡市に保健師2名を派遣 | 11月 きむたか・グスクまつり開催 |
| | 6月 東日本大震災で被災した岩手県大船渡市に保健師1名を派遣 | 12月 県道36号線(喜仲~豊原)開通 |
| | 7月 与勝中学校校舎改築等落成記念セミナー | 2012年 |
| | 7月 海中道路接続40周年式典 | 1月 市内全域で地震・津波の防災訓練を実施 |
| | 9月 広告事業に伴う大型テレビモニター運用開始 | 3月 岩手県盛岡市と「災害時における相互応援に関する協定」を結ぶ |

平成24年度

2012年4月1日
|
2013年3月31日

世の中の動き

- 〈県内〉・普天間飛行場へオスプレイが配備される(10月)
- ・那覇市新庁舎完成(12月)
- ・「南ぬ島石垣空港」開港(H25, 3月)
- 〈県外〉・東京スカイツリー開業(5月)
- ・ロンドン五輪開催される(7月~8月)
- ・i p s細胞で山中伸弥教授、ノーベル生理学・医学賞受賞(10月)

盛岡市友好都市提携



岩手県盛岡市と「友好都市提携」を結ぶ(2012年7月)



イチハナリアートプロジェクト(2012年8月)



第1回うるま市緑化祭開催(2012年11月)



人口12万人目に到達(2012年12月)

平成24年12月24日に提出された出生届をもって、うるま市の人口が12万人に到達しました。
平成25年1月22日には市役所本庁前で記念式典が行われ、ご家族に記念品と花束が贈られました。



うるま市出身の東浜巨選手(福岡ソフトバンクホークス)、屋宜照悟選手(北海道日本ハムファイターズ)の入団報告(2012年12月)

うるま市・盛岡市友好都市提携!

岩手県盛岡市を舞台にしたNHKドラマ「どんと晴れ」に、うるま市出身の女優・比嘉愛未さんが出演したのをきっかけに、盛岡市とうるま市は様々な交流を重ねてきました。これからは積極的に交流を深めていくことを誓い、7月31日、うるま市と盛岡市との友好都市提携調印式が盛岡市内にて行われました。



友好都市提携記念碑(2012年7月)



うるま祭りで盛岡さんさ踊りを披露するミスさんさ(2012年10月)



盛岡さんさ踊りパレードにて島袋市長と谷藤盛岡市長(2012年7月)



盛岡駅前で行なわれる「紅華風」の皆さん



うるま市男女共同参画宣言都市記念式典(2013年1月)

うるま市男女共同参画宣言都市記念式典 共に創ろう、一人ひとりの個性が輝くまち。

平成25年1月26日、みんなが主役の男女共同参画社会の実現に向けて、市民の意識を高めようと男女共同参画宣言都市記念式典が「うるま市民芸術劇場」で開催され、「男女共同参画都市」の宣言文を参加者全員で群読しました。記念講演では、登山家の田部井淳子さんが「共に歩み、共に輝く〜エプロンはずして夢の山〜」と題し、女性として世界初のエベレスト登頂の経験などをユーモアたっぷりに語りました。



うるま市・(株)サンエー・(株)メイクマン「災害時における防災活動協力に関する協定」締結式(2013年3月)



ご当地ヒーロー・伝統神ウルマー誕生(2013年3月)



2012ミスうるま

■その他の主な出来事

- | | |
|---|--|
| 2012年 | 12月 うるま市子ども議会開催 |
| 4月 彩橋小学校開校式 | 2013年 |
| 4月 コンビニ納税システム導入 | 3月 うるま市・沖縄県立中部病院「うるま市消防派遣型救急ワークステーションの設置に関する覚書」締結式 |
| 4月 与勝団地供用開始 | 3月 うるま市地域若年者雇用人材育成事業開始 |
| 11月 「オスプレイの配備撤回及び米兵による暴行事件等に抗議する」うるま市市民大会開催 | |

人口:120,558人 世帯数:46,618件(平成24年12月現在)

平成25年度

2013年4月1日

2014年3月31日

世の中の動き

- 〈県内〉
 - ・キャンプ・ハンセン内で米軍機墜落炎上(8月)
 - ・県と県議会の共催で「しまくとば県民大会」が開催される(9月)
 - ・南城市サキタリ洞穴遺跡で約8千年前の土器発見される(11月)
 - ・慶良間諸島、国立公園になる(H26, 3月)
- 〈県外〉
 - ・2020年、東京五輪・パラリンピック決定(9月)
 - ・伊豆大島で土石流が発生し甚大な被害(10月)
 - ・特定秘密保護法成立(12月)



図はイメージです



安全祈願祭・起工式(2013年11月)

勝連城跡周辺文化観光拠点整備基本計画を策定

基本方針

歴史 自然 交流

を感じる空間づくり を楽しむ空間づくり を生み出す空間づくり



『肝高の歴史浪漫を感じる交流空間の創出』

世界遺産である勝連城跡及びその周辺一帯を本市の文化・観光拠点として位置づけ、文化・観光振興及び地域活性化等に資する複合的な機能を集約させたエリアの創出を目指す『勝連城跡周辺文化観光拠点整備基本計画』を策定しました。



うるま市電話催告センター設立(2013年4月)



救急隊と医師が連携。消防派遣型救急ワークステーション運用開始(2013年6月)

統合庁舎建設工事がスタート

市民の利便性の向上、行政コストの削減等を図るため、平成23年度から進めていた統合庁舎建設事業の実設計が平成25年8月末に完了し、12月からの本格的な工事に先駆けて、11月25日に安全祈願祭・起工式が行われました。

統合庁舎の設計基本理念は「人と環境にやさしいシンプルで機能的な庁舎」です。

〈施設概要〉

建築面積：4,856.92㎡

延床面積：13,127.6㎡

規模：地下1階、地上3階

高さ：16.7m



島袋市長 2期目就任(2013年5月)



ご当地グルメ 「うるまもずくちゃんぶる一井」誕生(2014年3月)



母子家庭の生活を支援「マザーズスクエアうるはし」開所式(2013年10月)

平成25年10月31日、自立を目指す母子家庭を支援するための拠点となる「マザーズスクエアうるはし」が、みどり町に誕生し、その開所式が行われました。



2013ミスうるま

■その他の主な出来事

- 2013年
 - 3月 「子供を事件・事故から守る学校ゆいまーる制度」協定締結
 - 7月 盛岡市・うるま市友好都市提携1周年
 - 11月 こども医療費助成自動償還方式スタート
 - 11月 市内全域で地震・津波避難訓練を実施
- 11月 うるま市内タクシー会社・うるま市・うるま警察署「路上寝こみ等による交通事故等の防止に関する協定」締結
- 2014年
 - 2月 盛岡市においてうるま市物産展開催
 - 3月 うるま市公共施設等マネジメント計画答申

人口:120,955人 世帯数:47,564件(平成25年12月現在)

平成26年度

2014年4月1日
|
2015年3月31日

世の中の動き

- 〈県内〉・天皇皇后両陛下が「対馬丸記念館」を初訪問(6月)
- ・沖縄三越閉店(9月)
- ・翁長雄志氏が沖縄県知事に就任(12月)
- ・伊良部大橋開通(H27,1月)
- 〈県外〉・消費税5%から8%へ(4月)
- ・WHO「エボラ出血熱」の感染で緊急事態を宣言(8月)
- ・フランスの政治週刊誌「シャルリー・エブド」がイスラム過激派に襲撃される(H27, 1月)



マーラン船進水式(2014年7月)

半世紀ぶりに「マーラン船」復元される

古い時代、沖縄では、うるま市平安座島を中心に北は奄美大島諸島から南は与那原や那覇、先島諸島にかけて交易の船が往来していました。その船は「山原船(やんばるせん)」と呼ばれていましたが、うるま市の平安座島では「マーラン船」と呼んでいました。その「マーラン船」が、与那城平安座在住の越来治喜さんらの手によって復元され、完成した「マーラン船」の乗船体験が8月16日、17日の両日、海の駅あやはし館の海で行われました。



市指定無形民俗文化財
技術保持者の
越来治喜さん(越来造船)



彩橋幼稚園が開園(2014年4月)



前原高校サッカー部、
沖縄県高等学校総合体育大会で優勝。
36年ぶりに頂点へ
(2014年6月)



「現代の名工」に池宮城善郎さんが選出
(2014年11月)

平成26年11月、琉球ガラス作家の池宮城善郎さん(うるま市字西原)が、卓越した技能者として厚生労働大臣より表彰される「現代の名工」に選出されました。池宮城善郎さんは平成26年12月には沖縄県優秀技能者にも選出されています。



きむたかこどもセンター落成式(2014年12月)



沖縄市・うるま市 災害時における相互応援に関する協定書調印式
(2014年11月)



与那城出身バンドHYによる「HY SKY FES」開催(2014年11月)



2014 ミスうるま

■その他の主な出来事

- | | | |
|-------|-----|----------------------------------|
| 2014年 | 8月 | イチハナリアートプロジェクト展開催 |
| 4月 | 10月 | 市議会議員選挙 |
| 5月 | 11月 | 高江洲小学校マーチングバンド部、全国大会への派遣決定 |
| 6月 | 11月 | 第1回みどりフェスタ |
| 7月 | 11月 | うるま市読書活動フェスティバル開催 |
| | | 2つの給付金(臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金)申請開始 |

人口:121,521人 世帯数:48,419件(平成26年12月現在)

10年でこんなにになりました

僕たち、私たちは、うるま市が誕生した2005（平成17）年に生まれ、10年でこんなに成長しました。
これからも、うるま市の成長と共に歩んでいきます。

- ★いまハマっていること
アイロンビーズ・スケボー
- ★将来の夢
保育士
- ★うるま市の好きなおとこ
山がある 海がある
自然がいっぱいなおとこ




伊波 美希さん

- ★いまハマっていること
野球
- ★将来の夢
プロ野球選手、すし屋
- ★うるま市の好きなおとこ
もずくが沢山とれる所
海が近くにあつて
釣りができること





金城 知憲くん

- ★いまハマっていること
ゲーム&読書
- ★将来の夢
モデル
- ★うるま市の好きなおとこ
海がきれいな
海中道路




川根 千怜さん

- ★いまハマっていること
バスケットボール
- ★将来の夢
コック
- ★うるま市の好きなおとこ
石川ビーチ

新垣 梨々佳さん

- ★いまハマっていること
バスケットボール
- ★将来の夢
介護士
- ★うるま市の好きなおとこ
自然が見えるところ




石川 美妃乃さん

- ★いまハマっていること
バスケットボール
- ★将来の夢
保育士
- ★うるま市の好きなおとこ
地域の人が優しいところ




登川 朱里さん

- ★いまハマっていること
片付け
- ★将来の夢
アナウンサー
- ★うるま市の好きなおとこ
私が挨拶をすると笑顔で
答えてくれます。
それに私が挨拶するのを
忘れてしまっても相手から
挨拶してくれるので
挨拶はやっぱり大事だと
思える所が好きです。




伊波 杏奈さん

- ★いまハマっていること
一輪車
- ★将来の夢
料理人
- ★うるま市の好きなおとこ
勝連城跡






喜久山 すずなさん

- ★いまハマっていること
ピアノ
- ★将来の夢
女優
世界中のみんなをとっておきの
ニコニコ笑顔にしたいです。
- ★うるま市の好きなおとこ
一人ひとりの挨拶です。
私が「おはようございます」と
言っても言わなくても
「おはよう」と声が聞こえてきます。




久保田 心音さん

- ★いまハマっていること
外で遊ぶこと
- ★将来の夢
消防士、警察官、医者、
人の役に立つこと
- ★うるま市の好きなおとこ
公園が沢山ある所と（遊べるから）
市役所が大きいこと
（津波の時に逃げられるから）

幸喜 大和くん

- ★いまハマっていること
wiiのゲームのマリオカート
- ★将来の夢
プロ野球選手
- ★うるま市の好きなおとこ
ラーメン屋




西前 琉音くん

- ★いまハマっていること
科学の本（または理科）の本を
読むこと
- ★将来の夢
宇宙科学者
- ★うるま市の好きなおとこ
星がキレイに見える
静かな所




喜原 楓香さん

- ★いまハマっていること
サッカー、モンスター
- ★将来の夢
サッカー選手、
ゲームクリエイター
- ★うるま市の好きなおとこ
世界遺産があつて
海がきれいな所




仲嘉 葵くん

- ★いまハマっていること
ゲーム・工作
- ★将来の夢
冒険家
- ★うるま市の好きなおとこ
きれいな海が近くにある




長浜 怜央くん

URUMA NEXT

うるま市のまちづくり構想

うるま市では、「人と歴史が奏でる自然豊かなやすらぎと健康のまち」を将来像として、5つの基本目標を設定し、まちづくりを推進しています。



昔ながらの石垣が残る路地

1 人と自然にやさしい基盤と環境を育てます。

本市の豊かな自然環境を守り、生かすとともに、都市と自然のバランスや地域の個性に応じて、計画的な土地利用の誘導、地域振興を図ります。また、安全で快適な市民生活を持続的に確保するため、誰もが使いやすく、自然環境に配慮した都市基盤の整備や、適切な維持管理を進めます。

【主要施策】

- 地域特性に応じた活力ある計画的なまちづくりの推進
- 利便性の高い交通ネットワークの充実
- 賑わいのある魅力的な市街地の形成
- 快適で持続可能な生活環境づくりの推進
- 水と緑にあふれた、安全で潤いのあるまちづくりの推進



2

郷土に誇りを持ち、明日のうるま市を支える人を育てます。

未来を担う人づくりとして、学習環境の整備・充実を図るとともに、学校・家庭・地域の連携による教育力の向上、青少年の健全育成を目指します。また、誰もが自由に学び、活動できる学習・スポーツ・レクリエーションの環境づくりを進めます。さらに、芸術文化の振興や文化財の保護・活用を通じて、郷土に誇りと愛着の持てる人づくりを目指します。

【主要施策】

- 自ら学び考える力と確かな学力を培う教育の推進
- 潤いと生きがいのある生涯学習社会をつくる社会教育・社会体育の推進
- 豊かな感性を育む芸術文化の振興と文化財の保護・活用の推進



URUMA NEXT

うるま市これからの10年

3

うるま市の魅力を
生かした産業を育てます。

基幹産業としての農林水産業の振興、賑わいのある商業・サービス業の振興や工業の活性化を図ります。また、自然環境や歴史・文化など、魅力ある地域資源を生かした集客交流施設を展開し、「見る」「触れる」「感じる」観光の振興を図ります。さらに、健康長寿など、本市の特徴をテーマとした戦略的な新産業の創出や起業支援を図り、地域の活性化や雇用促進に努めます。

【主要施策】

- 環境と調和した安全で安心できる農林水産業の振興
- 賑わいと活力ある商工業の振興
- 歴史と自然を生かした「見る」「触れる」「感じる」観光の振興
- 戦略的な新産業の創出と就業支援の推進



うるま市産業まつりでの出店ブース

4

誰もが健康で、互いに
助け合える地域を育てます。

全ての市民が安心できる福祉環境の充実に努めるとともに、互いに助け合いながら自立を促進し、ともに地域の中で暮らしていける社会づくりを進めます。また、市民一人ひとりが自らの健康づくりに取り組み、生涯にわたって健康を維持できる健康・医療施策を推進します。

【主要施策】

- 誰でもどこでも安心して暮らせる地域福祉の推進
- 誰もが安らく、心とからだの健康づくりの推進
- 高齢者が生きがいを持ち、健康で安心して暮らせる環境づくりの推進
- 未来を担う子どもたちのための子育て支援の推進



乳幼児の定期検診



URUMA NEXT

うるま市これからの10年

5 市民とともに考え、築き上げるまちを育てます。

参加と交流のまちづくりとして、市民参加や男女共同参画の取り組みを進めるとともに、地域情報化や国際交流の取り組みの推進を図ります。また、ジリツ(自立・自律)できる力強い地域コミュニティの形成を促進するとともに、市民と連携して、防災の環境や体制を充実し、安全で安心できるまちづくりを進めます。さらに、市民の視点に立った行政サービスをめざし、効率的な行政組織づくりや健全な行財政運営を推進します。



うるま市屋慶名の大綱引き

【主要施策】

- パートナーシップで進めるまちづくりの推進
- 男女共同参画社会づくりの推進
- 地域コミュニティの充実・強化
- 安全で安心できる環境・体制づくりの推進
- 柔軟で効率的な行財政システムの確立



うるま市自治会(公民館)一覧

平成27年2月28日現在

	自治会名	公民館所在地	人口(人)	世帯数
具志川地区	1 具志川(くしかわ)	具志川381	4,765(男2,325/女2,440)	1,789
	2 田場(たば)	田場822	5,026(男2,472/女2,554)	1,840
	3 赤野(あかの)	赤野1124	1,694(男871/女823)	621
	4 宇堅(うけん)	宇堅1019	1,254(男643/女611)	465
	5 天願(てんがん)	天願76	1,406(男685/女721)	592
	6 昆布(こんぶ)	昆布1832番地327	1,774(男879/女895)	782
	7 栄野比(えのび)	栄野比357-2	2,035(男1,048/女987)	888
	8 川崎(かわさき)	川崎202	2,168(男1,105/女1,063)	799
	9 西原(いりばら)	西原467	2,687(男1,355/女1,332)	1,004
	10 安慶名(あけな)	安慶名263	2,991(男1,430/女1,561)	1,283
	11 平良川(たいらがわ)	平良川350番地1	2,418(男1,209/女1,209)	950
	12 上平良川(かみたいらがわ)	喜屋武371	2,864(男1,387/女1,477)	1,088
	13 兼箇段(かねかだん)	兼箇段871-2	1,604(男819/女785)	615
	14 米原(よねはら)	兼箇段1561-1	2,622(男1,282/女1,340)	941
	15 赤道(あかみち)	赤道345	4,968(男2,450/女2,518)	2,145
	16 江洲(えす)	江洲14	3,797(男1,876/女1,921)	1,478
	17 宮里(みやざと)	宮里157	3,423(男1,716/女1,707)	1,434
	18 喜仲(きなか)	喜仲3丁目6番5号	2,938(男1,457/女1,481)	1,144
	19 上江洲(うえす)	上江洲326	2,467(男1,227/女1,240)	1,018
	20 大田(おおた)	大田219-1	1,747(男879/女868)	668
	21 川田(かわた)	川田259	908(男465/女443)	348
	22 塩屋(しおや)	塩屋92	1,606(男830/女776)	601
	23 豊原(とよはら)	豊原253	1,225(男611/女614)	412
	24 高江洲(たかえす)	高江洲54-3	1,197(男579/女618)	434
	25 前原(まえはら)	前原229-1	1,362(男676/女686)	573
	26 志林川(しりんかわ)	高江洲913	2,133(男1,022/女1,111)	884
	27 新赤道(しんあかみち)	赤道972-101	1,959(男949/女1,010)	721
	28 みどり町一・二	みどり町2-8-18	2,194(男1,053/女1,141)	785
	29 みどり町三・四	みどり町3-13-5	2,428(男1,163/女1,265)	907
	30 みどり町五・六	みどり町5-7-8	2,065(男1,049/女1,016)	880
石川地区	31 曙(あけぼの)	石川曙2-7-35	2,981(男1,471/女1,510)	1,297
	32 南栄(なんえい)	石川436-1	817(男418/女399)	372
	33 城北(じょうほく)	石川2-32-18	1,926(男979/女947)	785
	34 中央(ちゅうおう)	石川2-2-11	1,058(男529/女529)	453
	35 松島(まつしま)	石川1-27-7	970(男487/女483)	454
	36 宮前(みやまえ)	石川1-49-9	980(男489/女491)	456
	37 東山(あがりやま)	石川東山本町1-17-3	1,454(男755/女699)	762
	38 旭(あさひ)	石川東山2-11-2	2,488(男1,195/女1,293)	947
	39 港(みなと)	石川赤崎2-11-1	1,184(男591/女593)	553
	40 伊波(いは)	石川伊波29	2,267(男1,111/女1,156)	873
	41 嘉手苺(かでかる)	石川嘉手苺366	914(男432/女482)	397
	42 山城(やましろ)	石川山城389-6	985(男523/女462)	400
	43 石川前原(いしかわまえはら)	石川東恩納947-6	3,398(男1,658/女1,740)	1,254
	44 東恩納(ひがしおんな)	石川東恩納480-1	1,599(男801/女798)	683
	45 美原(みはら)	石川東恩納1524	785(男387/女398)	367
勝連地区	46 南風原(なまかぜ)	勝連南風原255	3,664(男1,825/女1,839)	1,452
	47 平安名(へんな)	勝連平安名655-1	4,259(男2,157/女2,102)	1,585
	48 内間(うちま)	勝連内間980	1,117(男619/女498)	437
	49 平敷屋(へしきや)	勝連平敷屋4068	3,841(男2,105/女1,736)	1,487
	50 津堅(つけん)	勝連津堅27	484(男277/女207)	258
	51 浜(はま)	勝連浜91	297(男168/女129)	139
	52 比嘉(ひが)	勝連比嘉125	203(男121/女82)	115
	53 照間(てるま)	与那城照間1115-1	1,279(男670/女609)	470
与那城地区	54 与那城西原(よなしろにしはら)	与那城西原99	1,580(男747/女833)	592
	55 与那城(よなしろ)	与那城142	1,603(男800/女803)	590
	56 鏡辺(のへん)	与那城鏡辺303-1	1,365(男727/女638)	495
	57 屋慶名(やけな)	与那城屋慶名1098	4,039(男2,080/女1,959)	1,603
	58 平安座(へんざ)	与那城平安座409-2	1,281(男669/女612)	575
	59 桃原(とうばら)	与那城桃原400-3	234(男129/女105)	119
	60 上原(うえはら)	与那城上原79	260(男155/女105)	136
	61 宮城(みやぎ)	与那城宮城163	173(男97/女76)	98
	62 池味(いけみ)	与那城池味937	106(男57/女49)	59
	63 伊計(いけい)	与那城伊計237	285(男153/女132)	155
	合計	121,601(男60,894/女60,707)	合計	48,507

うるま市の将来に向けて 新庁舎が誕生します



うるま市では、平成17年4月の合併以来、旧市町の庁舎を活用し、分庁方式で事務事業を行ってまいりましたが、手続きの不便さや施設の維持管理コストなどの課題が生じていました。このため、これらの課題の解消と市民の利便性向上を図るために、平成23年度に統合庁舎建設事業をスタートし、平成25年10月に建設工事が始まりました。完成に向け市民の期待がふくらんでいます。



■施設の基本理念

- 人と環境にやさしい、シンプルで機能的な庁舎
1. 市民にやさしく親しまれる庁舎
 2. 環境に配慮し、市民の安心安全な生活を推進
 3. 市民の一体感を醸成し、市民との協働を支援
 4. 社会の変化に対応し、便利で機能的な庁舎

■施設概要

施設名称：うるま市庁舎（新庁舎）
 建築面積：4,856.92㎡
 延床面積：13,127.6㎡
 規模：地下1階、地上3階
 高さ：16.7m



■施設の主な特徴

新庁舎は、自然換気や太陽光、雨水、井水等の自然エネルギーの活用や壁面ルーバーによる熱負荷の軽減による省エネルギー設計となっています。また、外周に回廊を設置し、東西南北に出入口を設けることで、どこからでも入りやすい外部と一体となった設計で、窓口は一元化したサービスが受けられるように広いロビーとなっており、間仕切りの少ない開放的あふれる空間となっています。

地階は駐車場、1階は現在の市民課業務を担う窓口サービス課（仮称）や税関係部署のほか市民スペースを配置、2階は児童家庭課や保育課など子育て関連部署のほか、キッズスペースを設けています。3階は企画部を配置し、庁議室や大講堂を設けています。この他、現本庁舎との一体感を持たせるために1階部分に渡り廊下を設置、安全性の観点から柱頭免震構造を採用し、防災拠点としての機能も整備されています。

食を通じてうるま市を元気にする

うるま市農水産業振興戦略拠点施設



『食を通じてうるま市を元気にする』を理念に、沖縄No.1の直売所を目指して、うるま市農水産業振興戦略拠点施設事業を展開します。

うるま市農水産物の流通戦略・地域食材供給拠点として、第一次産業の持続・発展的な振興と地域産業の活性化に寄与するとともに、沖縄観光の話題拠点となる施設を目指します。

■施設概要

場所：うるま市前原地内
 構造：鉄骨造 直売所棟 平屋
 産直レストラン棟 地上2階
 施設規模：（基本設計時点）

全体敷地面積	13,206㎡
直売所棟	1,790.93㎡
産直レストラン棟1F	864.12㎡
産直レストラン棟2F	470.02㎡
駐車場	6,185㎡（232台分）

うるま市文化観光振興プロジェクト

うるま市生涯学習・文化振興拠点施設



■施設概要

場所：うるま市仲嶺弓田原187番地ほか
 構造：本体RC造、駐車場アスファルト舗装
 規模：本体・地上2階、陶芸窯・地上1階
 延床面積：本体（1階2,454.82㎡ 2階1,317.04㎡ 屋上139.24㎡）
 合計3,911.10㎡
 陶芸窯20㎡

主要施設：1階（多目的ホール、研修室、音楽室、創作活動室、ラーニングcommons、コミュニティcommons、ブラウジングコーナー、放送室）
 2階（研修室、軽音楽室、団体事務室、ラーニングcommons、調理室、多目的室、和室、学習室）

沖縄県は、舞踊や音楽を主体とする伝統芸能が盛んな地域です。中でもうるま市はエイサーをはじめ闘牛、獅子舞など多様な観光資源を有し、沖縄文化の典型を凝縮した地域となっています。「うるま市生涯学習・文化振興拠点施設」は、うるま市における生涯学習と文化振興の拠点として、地域芸能文化の継承＝観光振興に寄与するものとして大きな期待が寄せられています。

行政・議会の歩み (平成27年2月28日現在)

■歴代市長



初代 知念恒男
平成17年5月15日～平成21年5月14日



第2代・3代 島袋俊夫
平成21年5月15日～現職

※うるま市長職務執行者:藏當 眞徳氏(前勝連町長)平成17年4月1日～平成17年5月14日

■歴代助役・副市長



初代 副市長 石川邦吉
平成17年6月7日～平成21年5月14日



第2代・3代 副市長 榮野川盛治
平成21年6月18日～現職

■歴代収入役



初代 収入役 松野義勝
平成17年6月7日～平成21年5月14日

■歴代教育長



初代 教育長 上江洲安吉
平成17年4月1日～平成17年6月6日



第2代 教育長 前門幸雄
平成17年6月7日～平成21年6月6日



第3代・4代 教育長 謝敷久武
平成21年6月7日～現職

■歴代議長



初代 議長 崎原 弘
平成17年4月18日～平成18年10月19日



第2代 議長 島袋俊夫
平成18年10月20日～平成21年3月2日



第3代・4代 議長 西野一男
平成21年3月2日～平成26年10月19日



第5代 議長 大屋政善
平成26年10月20日～現職

■歴代副議長



初代 副議長 宮城 茂
平成17年4月18日～平成18年10月19日



第2代 副議長 山内末子
平成18年10月20日～平成20年5月21日



第3代 副議長 西野一男
平成20年5月21日～平成21年3月2日



第4代 副議長 伊波良紀
平成21年3月2日～平成22年10月19日



第5代 副議長 東浜光雄
平成22年10月20日～平成26年10月19日



第6代 副議長 徳田政信
平成26年10月20日～現職

■議員定数の沿革

平成17年	4月1日	具志川市、石川市、与那城町、勝連町の2市2町の合併により、「うるま市」が誕生(議員数86名) ※旧市町議会議員86名(旧具志川市24名、旧石川市22名、旧与那城町20名、旧勝連町20名)
平成18年	10月20日	合併在任特例の満了に伴う、うるま市議会議員選挙執行(議員定員数:34名)
平成26年	10月20日	任期満了に伴う市議会議員一般選挙執行(議員定数30名)



平成26年10月20日第89回うるま市議会臨時会(初議会)

うるまの意味

珊瑚の島という意味で沖縄の美称である。また、景観の見事な沖縄の島々を示す言葉で、この4市町の海に面した素晴らしい景観を表し、新市が未来へ飛躍することと、美しい沖縄（4市町）の心を世界に発信することを願う。

うるま市民憲章

うるま市は、豊かな自然と先人たちの築きあげた文化と伝統を大切に、希望にみちた健康都市です。私たちは、このまちを愛し、おたがいの幸せを願い、ここに憲章を定めます。

- 一 すこやかで、心のかよう家庭と、思いやりのあるまちをつくりまします。
- 一 自然を生かし、花とみどりに包まれた、きれいなまちをつくりまします。
- 一 きまわりを守り、ものを大切に、住みよいまちをつくりまします。
- 一 働くよろこびと、若い力の育つ、元気なまちをつくりまします。
- 一 教養を高め、文化のかおり高い、魅力あるまちをつくりまします。

平成19年3月6日 制定



市章の意味

うるま市の「う」の文字を図案化したもので、赤は太陽、緑は大地、青は海をイメージしている。豊かな自然の輪の中で市民の融和と平和を表現し、金武湾と中城湾に面して発展する「うるま市」の明るい未来と更なる飛躍を象徴する。

うるま市市章 平成18年3月1日制定

うるま市歌

～青雲澄みて

- 一、朝日が昇る 金武湾に
世紀の波は うち寄せて
あやはし照す しがね色
肝高満ちる この里も
青雲澄みて 光さす
ああうるま市に みどり萌え
- 二、歴史文化を 偲びつつ
いちゆいの息吹 共に冴え
みほその里も 誇りなん
生まれし街の 自治の道
共に手を取り 進みゆく
ああうるま市に 花が咲く
- 三、離れし島の 美ら島に
明りをともし わが街も
共に興さん 理想をもち
平和の鐘は 高鳴りぬ
心と心 通い合う
ああうるま市に 実が榮える

明日にかける、未来へつなぐ



現代版組踊「肝高の阿麻和利」

現代版組踊「肝高の阿麻和利」は、1999年に当時の勝連町教育委員会が、子ども達の感動体験と居場所づくり、ふるさと再発見として子どもと大人が参画する地域おこしを目的に企画されたもので、勝連城10代目城主・「肝高の阿麻和利」の半生を沖縄の伝統芸能「組踊」をベースに、現代音楽とダンスが取り入れられた創作劇です。

2000年3月に阿麻和利の居城であった「勝連城跡」で記念すべき第1回公演が開催されました。当初は1回限りの予定でしたが、再演の要望が強く、その後も世代交代をしながら進化を続け、2003年には東京公演、2008年には夢であった初の海外公演「ハワイ公演」も実現しました。初演以来、公演回数は160回を数え、舞台だけでなく地域づくりの場として県内外から注目を浴びています。